

1. 科目名 (単位数)	保育内容 (言葉) (2 単位)	3. 科目番号	
2. 授業担当教員	吉田屋 幸子		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期/秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	本科目では、領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身につけ、想像する楽しさを広げるために必要な基本的知識を身につける。乳幼児期の言葉の発達と言語環境の理論的理解を通して、乳幼児期の豊かな心身の育ちを培うための保育者の役割を考察する。また、豊かな想像性と言語表現を促す児童文化財について、理論と実践を通してその意義と価値を理解し、言葉に対する感覚を豊かにする教材や実践に関する知識を身に付ける。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 領域「言葉」の内容と意味を理解する 2. 乳幼児期の言葉の発達を捉える視点と言葉の発達の様相を理解する。 3. 乳幼児期の言葉を育む環境と保育者の援助を理解する。 4. 領域「言葉」の指導方法を実践的活動場面から学び、子どもの言葉を育てる保育実践の力を身につける。 5. 言葉をめぐる現代社会の現状と課題を理解し、保育者の役割の理解を深める。 6. 児童文化財 (絵本や紙芝居、パネルシアターなど) の基本的な技術を習得し、保育の展開や環境設定を考察し、実践力を高める。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内のワークシート、リフレクションシート ・課題レポートおよび最終レポートの課題については、授業内で提示します。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】内藤知美・新井美保子 (編者) 『コンパス保育内容言葉』第2版, 2018年, 建帛社</p> <p>【参考書】厚生労働省『保育所保育指針解説』フレーベル館, 文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館, 幼保連携型こども園教育・保育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 (平成29年3月告示内閣府・文部科学省・厚生労働省)</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 領域「言葉」の内容と意味を理解し、説明することができる。 2. 乳幼児期の言葉の発達を捉える視点と言葉の発達の様相を理解し、説明することができる。 3. 乳幼児期の言葉を育む環境と保育者の役割を理解し、説明することができる。 4. 領域「言葉」の指導方法を実践的活動場面から学び、授業発表等で実践することができた。 5. 人間にとっての言葉の意義や機能を理解し、言葉をめぐる現代社会の現状と課題を踏まえ、保育者の役割の説明することができる。 6. 児童文化財 (絵本や紙芝居、パネルシアターなど) の基本的な技術を習得し、保育の展開や環境設定を保育実践にむけて考察、立案することができる。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業態度と学習目標への到達度 (積極的参加、課題への取り組みと提出、授業後の記述内容により加点) 40% 2. 提出課題 (絵本やわらべうた等の収集と教材ノートの作成) 30% 3. 期末試験 (言語発達や保育者の役割に関する筆記試験) または期末課題 30% 		
12. 受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート及び提出物の締め切りは時間厳守のこと。 ・子どもの姿をイメージし保育者の援助の意図を考えながら、子どもの豊かな育ちにかかわる者としていっしょに学びましょう。 		
13. オフィスアワー	別途、通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス 保育内容「言葉」の意義	事前学習	教科書の目次及びシラバスを確認する。
		事後学習	授業や演習に必要な教材を準備する。
第2回	「言葉」のねらいと内容 (前)	事前学習	要領と指針の「言葉」のねらいと内容を読む。
		事後学習	「言葉」のねらいと内容を整理する。
第3回	乳児の言葉の発達	事前学習	教科書3章「0歳児の言葉」を読む。
		事後学習	0歳児の言葉の発達をまとめる。
第4回	幼児の言葉の発達	事前学習	教科書第4～5章を読む。
		事後学習	1,2歳児の言葉の発達をまとめる。
第5回	言葉を育む養育者の役割	事前学習	教科書第6～8章を読む
		事後学習	幼児の言葉の発達と養育者の役割をまとめる。
第6回	言葉を豊かにする保育環境 玩具を媒介とした言葉がけを考える	事前学習	身近な人に乳幼児期に自分がどのような遊びに興味を持っていたかインタビューする。
		事後学習	言葉を豊かにする保育環境や関わりをまとめる。
第7回	言葉を育む児童文化財の意義と演習① わらべうた・手遊び等	事前学習	関心のあるわらべうたや手遊びについて調べる。
		事後学習	わらべうたや手遊びを実施する際の子どもの姿をイメージしまとめる。
第8回	言葉を育む児童文化財の意義と演習② 絵本・紙芝居等	事前学習	関心のある絵本や紙芝居について調べる。
		事後学習	絵本や紙芝居を実施する際の子どもの姿をイメージしまとめる。
第9回	言葉を育む活動と指導案の作成	事前学習	関心のある言葉を育む児童文化財について調べ、指導案の作成に取り組む。
		事後学習	指導案の修正を行う。
第10回	保育体験①子どもたちの前で演じる 導入・ペーパーサートの実践・まとめ	事前学習	発表の準備を行う。
		事後学習	実践のまとめと振り返りを行う。

第11回	保育体験②子どもたちの前で演じる 導入・ペーパーサートの実践・まとめ	事前学習	発表の準備を行う。
		事後学習	実践のまとめと振り返りを行う。
第12回	体験の振り返りと今後の課題（保育所の都合により見学ができない場合がある）	事前学習	体験での振り返りを行う。
		事後学習	振り返りから課題を見出す。
第13回	「言葉」のねらいと内容（後）	事前学習	教科書第9章を読む。これまで学んだことを踏まえて要領と指針の「言葉」のねらいと内容を読む。
		事後学習	これまで学んだことを踏まえて「言葉」のねらいと内容を整理し理解する。
第14回	配慮を必要とする子どもの発達のサポート	事前学習	教科書第10章を読む。
		事後学習	保育者による具体的な援助、支援体制についてまとめる。
第15回	現代社会における「言葉」の問題	事前学習	現代社会における言葉をめぐる問題や課題について自身の考えをまとめる。
		事後学習	本講義を踏まえ、保育の場で「言葉」を育む役割についてまとめる。